

指定管理業務モニタリング評価結果

令和 7 年 7 月
事務局本部業務課

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道、沼田川水道用水供給水道、沼田川工業用水道		
指定管理者		株式会社水みらい広島	3期目	R 5 . 4 . 1 ～ R 1 0 . 3 . 3 1
評価期間		令和6年度（令和6年4月 ～ 令和7年3月）		
総 評		A	S：優良（要求水準以上の取り組みを実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）	
業務履行状況	項 目	評価	評価内容	
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。	
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。	
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。	
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。	
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。	
	6 料金徴収・ 窓口対応	○	要求水準書に基づいた適正な料金徴収、窓口対応が実施されている。	
	7 その他	○	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。	
品質向上等に向けた取組		- ろ過処理に悪影響を与える珪藻類の増殖に対応するため、通常の薬品よりも凝集性の優れた薬品に切り替えるなど、安定した水質管理に取り組んでいる。 - 浄水場の薬品注入について、薬品の結晶化による注入配管の閉塞を防ぐため、定期的に注入配管の部内清掃を行っている。		
提案項目への取組		- 広域運転監視システムを活用した監視業務体制の再構築に向けて、担当職員を対象とした現場研修の実施による高度な運転監視の習得や事業所間での職員相互派遣などに取り組んでいる。 - 浄水場の電気設備内にある電路を遮断する真空遮断器の点検をする際、場内で長時間の全停電が起こるため、自家発電設備に切り替えて対応していたが、発電設備の運転時間に重油を消費することから、改善策として、点検時には予備の遮断器に入れ替え、停電の防止及び自家発電設備を使用しないコスト削減に取り組んでいる。		
その他課題， 要望事項等		水質データ管理を一元化するソフトウェアや漏水補修材料等の資機材を一元管理するシステムについて、速やかな運用開始に向けて取り組み、さらなる維持管理業務の効率化に努めること。		

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取り組みを実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある